

## 手足口病とは【解説】

手洗いを  
しっかりね！



いしかわ予防戦隊 うつしませんジャー

手洗いレッド

手足口病は、エンテロウイルスによる感染症で患者は、4歳くらいまでの幼児が中心です。

**感染経路** 感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排出されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。一度発病すると、その病因ウイルスに対する免疫が成立します。

**症 状** 潜伏期は3～5日くらいです。  
口腔粘膜、手掌、足底や足背などの四肢末端に現れる水疱性の発疹（2～3mm）を主症状とし、乳幼児を中心に、主に夏季に流行します。  
基本的には、数日間のうちに治癒します。  
合併症として下痢を伴うことがあり、まれに髄膜炎、脳炎の合併があります。

**治 療** 大部分は発疹のみの軽い症状であり、特別な治療の必要はないと言われています。  
まれに、髄膜炎などの合併症を伴うこともあるため、高熱、頭痛、嘔吐などの症状がみられた場合は、すぐに主治医に相談しましょう。

**予 防** 一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。  
手足口病は、治った後もしばらくは便の中にウイルスが排出され、また、感染しても発病しないままウイルスを排出している人もいると考えられることから、日頃からのしっかりとした手洗いが大切です。



出典：国立感染症研修所 感染症情報センター